

## インターネット基盤技術の高度化（e!プロジェクトの推進）に関するシステムの実証及び調査研究—教育分野におけるITの利活用の在り方について—

### 1. 実証及び調査研究の概要

本実証研究では、e-JAPAN 重点計画 2002 の一環として、総務省の「インターネット基盤技術の高度化（e!プロジェクトの推進）に関するシステムの実証及び調査研究—教育分野におけるITの利活用の在り方について—（以後：e!プロジェクト（教育分野）という。）」に基づき、2005 年度に実現される世界最先端のIT国家の姿を実現するためのショーケースとしてIPv6環境の中で無線LANや個人認証技術、動画配信技術等を生かした「ユビキタスワーク三鷹モデル（以後：e! School ネットワーク）」を構築し、学校・家庭・地域相互交流、校外学習、個人学習及び市民大学等の市民へのコンテンツ利用や動画配信技術を中心とした総合的な教育支援及び市民サービスのシステムを構築し、技術的観点からその有用性や在り方について検証・検討を行うものである。具体的な検証テーマは以下の通りである。

1. IPv6 マルチキャストによる大容量、高画質の動画配信技術検証とIPsecによる認証技術検証
2. 超高速無線LAN及び高速無線LAN環境下における将来を見据えた適用分野の検証
3. IPv6 を用いた広域F.F.-VoIPシステムモデルの実現と検証

そのほか、以下の項目について、三鷹市が平成16年度までの期間において本実証システムから得られたデータをもとに実施する、教育分野におけるITの利活用の在り方に関する社会学的観点からの評価、及び外部の大学等研究者による検証・評価委員会等の外部評価についても協力する。

1. ネットワーク利用が学習や、学力に及ぼす影響について
2. ネットワーク社会が児童・生徒に及ぼす影響について